

BioxiGuard

バイオ燃料用添加剤（酸化防止剤）

BioxiGuard は、FAME（Fatty Acid Methyl Ester）およびFAMEを一定割合含む“バイオ燃料（B24等）”の酸化劣化を防止し、スラッジや酸性物質の発生および発熱量低下を防ぐ燃料油添加剤です。

バイオ燃料油の酸化劣化によるトラブルを防止し、発熱量の低下による燃費の悪化を防ぎます。

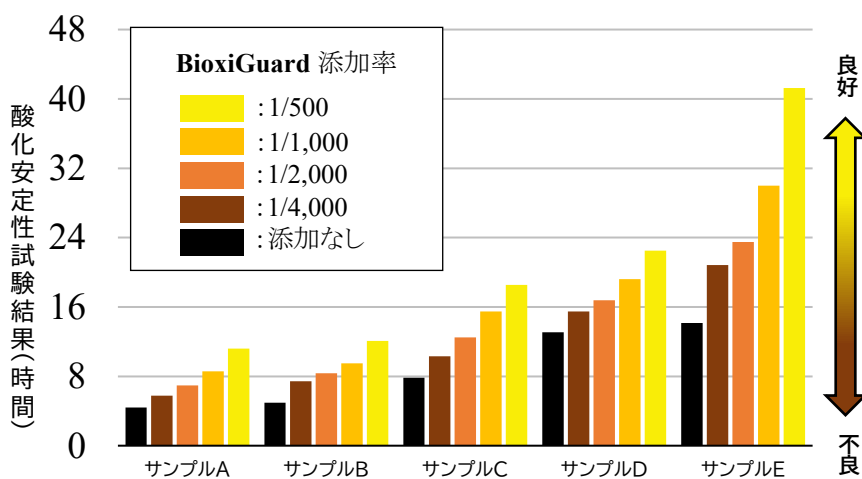
特 性

バイオ燃料は貯蔵時にも酸素と反応する性質を持ち、長期保管や温度の影響で酸化しやすくなるため、貯蔵時には対策が必要になります。

バイオ燃料が酸化劣化すると大きく分けて、二つのトラブルが発生します。

- ① スラッジや酸性物質の発生 ⇒ ストレーナ閉塞や清浄機汚損、金属表面の変質・腐食
- ② 発熱量の低下 ⇒ 燃料消費率の悪化

BioxiGuard は、バイオ燃料の酸化安定性を向上させるため、酸化劣化の進行抑制に効果を発揮します。バイオ燃料の酸化劣化によるスラッジトラブル等を防止し、発熱量の低下による燃費の悪化を抑制します。



バイオ燃料に BioxiGuard を添加したときの酸化安定性試験結果(EN 15751)



酸化安定性試験後のバイオ燃料 (8時間・110℃で空気をバブリング)

性 状

- 外 観 : 無色～淡黄色液体
- 密 度 : 0.92 g/cm³ @15℃
- 引 火 点 : 71℃ (PM 法)
- pH : -

進取の気象をモットーに

 日本油化学工業株式会社



←お問合せはこちらまで。
(<https://www.nipponyuka.jp/>)



使用方法

- B100 に対して標準添加率は 1/2,000 です。
BioxiGuard はバイオ燃料油との混合性が良好ですが、補給前の燃料油タンクに BioxiGuard を投入し、その後補油（給油）することで、より混合が促進します。
- 以下の条件により、添加率を適宜調整ください。
 - ・酸化安定性 8 時間未満(※)の場合（劣化しやすい）
 - ・B100 に対しては添加率 1/500 を推奨します。
- 石油燃料と FAME を混合したバイオ燃料は、下表を参考に FAME 濃度に合わせて添加してください。

タイプ	B100	B50	B30	B24
推奨添加率	1/2,000	1/4,000	1/6,000	1/8,000

$$\text{混合バイオ燃料の添加率} = \text{B100 添加率} \times \frac{\text{FAME 濃度}[\%]}{100[\%]}$$

- バイオ燃料を半年以上貯蔵する場合、半年毎に初回と同じ添加率を追添加することを推奨します。
- 本剤は燃料油中に添加された状態であれば、他の当社燃料油添加剤と併用しても問題ありません。ただし、各添加剤の原液同士を直接混合することは避けてください。

(※)：バイオ燃料の酸化安定性（ランシマツ法、EN15751）の評価。
船用燃料油規格 ISO8217：2024 では最低 8 時間と規定

使用上の注意

- 本製品の使用方法を良く守り、記載外の方法では使用しないでください。
- 使用時は防護眼鏡・マスク・耐油性手袋などの保護具を着用してください。
- 引火性がありますので、火気に注意してください。
- 体調不良を感じた場合は使用を中止し、医師の診察を受けてください。

取扱上の注意

- 製品劣化や容器不具合の恐れがあるため、別の容器に移し替えて保管しないでください。
- 火気厳禁。
- 変質の恐れがあるため、50°C以上の高温および 0°C以下の低温での保管は避けてください。

荷 姿

		重量 (kg)	寸法 (W×D×H, cm)
○	200L ドラム缶	204	φ58.5 x 89
○	18L 石油缶	17.7	23.8 x 23.8 x 35

関連法規

- 消防法： 危険物第 4 類 第 3 石油類 危険等級 III